

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 杉森 知也

研究課題		戦前期中等教員の臨時的養成-満洲国立師道学院と建国大学との関係性-
報告の概要	研究目的 および 研究概要	申請者は、これまで植民地台湾・朝鮮および「満洲国」における日本人を中心とする中等教員の養成とその需給調整政策を明らかにしてきた。また、「満洲国」の高等師範学校と満洲国立中央師道訓練所の関係性について基礎的な部分については明らかにできた。一方、官吏養成機関であった建国大学が中央師道訓練所と一定の関係性があったとする新聞記事があり、このことについて、教授組織などの点から明らかにすることを目的とした。
	研究の結果	「満洲国」における中等教員再教育の史的展開と制度的位置づけについて、官吏養成機関であった大同学院や建国大学との関係性を含めて検討し、その性格を明らかにした。第一に、現地人教員については「三民主義」への対応、日本人教員については「建国精神」と満洲語の訓練、第二に中央師道訓練所中等教員養成課程に所属した生徒の戸籍をみると、「満蒙開拓団」で多く入植した府県と合致する面も多かったことが判明した。また、「内地」からの派遣教員と異なり、大幅に低い俸給での雇用となっていた実態も明らかにできた。第三に、大同学院や建国大学は国務院管轄で、中央師道訓練所と異なる性格にあったにも関わらず、予算・管理のほか、教員の融通(異動)についてもかなり強い関係性があったことを指摘することができた。
	研究の考察・反省	現状では、史料的な限界もあり、主に校友会誌である『師魂』の記述に頼らざるをえなかった。今後は、さらに史料調査を進め、ここに上がっていない史料も収集して、検証した内容を補足していく必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※ この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。	・ 『満洲国』における日本人中等教員再教育・養成に関する一考察-師道講習所・中央師道訓練所と大同学院・建国大学との関係性を中心に- (『多摩大学経営情報学部教職研究』Vol.3、pp.24-37、2020.3)。
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		